

令和8年度

一般選抜（前期日程）入学試験問題

国語

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、問題用紙および解答用紙を開いてはいけません。
- 二、この表紙を除いて、問題用紙は五ページあります。また、解答用紙は一ページあります。
- 三、問題用紙および解答用紙の印刷不鮮明、ページの不足や汚れに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 四、受験番号と氏名を所定の全ての欄に記入してください。
- 五、解答は、解答用紙の指定された解答欄に記入してください。指定された解答欄以外に記入したものは採点しません。
- 六、表紙および問題用紙の余白や裏面は、適宜下書きや計算などに用いて構いません。
- 七、配付した用紙は全て、試験終了後回収します。



令和8年度 一般選抜(前期日程) 入学試験問題

国語

(一／五)

一、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

「ガーデン・シティ」という、比較的よく知られた言葉がある。確認すると、これはイギリスの社会改良家ハワードが1902年に公刊した著書『明日のガーデン・シティ (Garden Cities of Tomorrow)』に^①ユライするもので、環境と調和した、人間的でゆとりある生活を実現するような都市のあり方を意味するものだ。

当時イギリスでは産業革命が進行し、大気汚染など公害の増加、コミュニティの稀薄化や格差拡大、自然の喪失等々が進んでいたが、そうした状況を^②コクフクしていくための新たな時代の都市の理念として提唱されたのがこの「ガーデン・シティ」だった。^③ハワードのこうした理念は、それを踏まえて具体的な都市の設計を進めていった建築家レイモンド・アンウィンの実践とともに、20世紀の都市づくりにおける指針として世界各国の都市計画に影響を与えていった。

ところで、こうした「ガーデン・シティ」について、あまり知られていない事実がある。それは、^④彼らは意外にも当時(明治の頃)の日本の都市を「ガーデン・シティ」の一つのモデルとして意識していたという点だ。実際、アンウィンはその著書『都市計画の実践 (Town Planning in Practice)』(1909年)において、日本について次のように記しているのである。

「日本人は、桜や梅の花咲く時をもっとも大切な休日や行事の日として祝い、それらを見るために特別にしつらえた場所にくり出し、花の下で^⑤ジュウソクした時を過ごす」

花見の季節に、人々が川べりや神社の脇などでくつろいで過ごしている光景であろう。これが他ならぬ「ガーデン・シティ」のイメージと重ねられたのである。そしてアンウィンのこの後の文章は「もしも私たち(イギリス人)に同様のことができるとするならば……」という形で展開されていく。

読者の中ですでにお気づきの方もおられると思うが、ここでの「ガーデン・シティ」は、通常は「庭園都市」と訳されるのが一般的である。^⑥しかし私は、「ガーデン」という言葉の本来の意味やニュアンスからすれば、それはむしろ「庭園都市」と訳されるべき言葉ないしコンセプトではないかと思う。

以上のようなことを考えていくと、たとえば私の勤務地である京都は今も「ガーデン・シティ」庭園都市としての性格を持っていることが感じられる。都市の中心軸を形成している鴨川とその周辺、無数に存在する寺社とその周囲の緑や自然、そしてまた、都市景観にとつての不可欠な存在でもある京都三山。

思えば西欧の都市は、たとえばパリにしても、セーヌ川という「自然」が都市の中に存在するとは言え、それは人間によって完全に管理された人工物であるという性格が強い。都市規模が違うので単純な比較はできないが、いずれにしても、川や緑、山々などが、できる限りその元の姿を保ちながら都市と融合しているようなあり方が「庭園都市」ではないか。

京都について^⑦ゲンキュウしたが、日本の都市が「庭園的」であったのは決して京都だけではない。ここで時計の^⑧④を少し巻き戻すと、現在の日本人にとっては意外なことだが、江戸の末期や明治の初めに日本を訪れた外国人は、口をそろえて(当時の)日本の都市が「庭園」のようであると述べている。たとえば幕末に日本を訪れたドイツ人ルドルフ・リンダウは、江戸のことを次のように表現している。

「数多くの公園や庭園がこの江戸を埋め尽くしているので、遠くから見ると、無限に広がる一つの公園の感を与えてくれる」

なんとも印象深い形容だが、このように、日本の多くの都市は(明治以降の一定の時期までは)こうした「庭園都市」としての性格を間違いなく有していたと思われる。

「有していた」という過去形で記したのは、残念ながら、特に高度成長期を通じて、日本のほとんどの都市は、こうした「庭園都市」としての性格を失っていったと言わ^⑨ざるをえないからである。

^⑩しかしチャンスはある。日本は本格的な人口減少社会となり、高度成長期のように「郊外の田んぼや自然がど

令和8年度 一般選抜(前期日程) 入学試験問題

国語

(二／五)

んだん宅地や工場に変わっていった”流れとは逆の流れが今後進んでいく。そうした中で「庭園都市」を再びデザインしていく時代を私たちは^⑤ムカえているのだ。

これは決して夢物語ではない。たとえば以前、横浜市役所の方と話していた際、今後は高度成長期とは反対に郊外において空き地・空き家が増えていくのをいわば”逆手”にとって、それらをうまく市民農園や緑地などに変えていく構想があることを聞いた。

あるいは先日訪れる機会があったが、静岡県⑥の三島市では、富士山の湧水があふれ出ることで形成される市内の清流の周囲を市民の憩いの場として再生する試みが、NPOや住民の方々の努力を通じて進められてきている。

京都の例に戻ると、近年、観光の面も含めて京都が国際的にも注目されている理由の一つは、ここで述べている「庭園都市」という姿が、環境問題や持続可能性との関連を含め、現代そして未来の都市のあり方を示しているからだろう。周囲の山々も”^⑧つまり都市景観の一部になっている。それは「ガーデン・シティ」をさらに超えて、「^④エコロジカル・シティ＝生態都市」と呼べるような都市像である(ただし生活している実感から言えば、

京都の場合、狭い道路を自動車⑦が猛スピードで走行したり、歩道を自転車⑦が高速で通過したりするなど、自動車、自転車、歩行者が入り乱れて交錯し、残念ながら後でふれる”歩いて楽しめる街”にはなお相当な距離がある)。

いずれにしても、「エコロジカル・シティ＝生態都市」と呼びうる姿は、単に「未来志向」の都市というにとどまらず、それは人間と自然との関わりを含めて、伝統的なものを再発見していく方向とつながり、「なつかしい未来(ancient futures)」という理念と重なる。

ちなみに「スマートシティ」をめぐる議論が活発だが、日本におけるスマートシティの議論はいささか経済効率性などの視点に偏りすぎており、人間にとつての生活の質や、「自然」という要素がほとんど忘れられているように私には見える。これからの時代における都市のあり方は、以上のようなより大きな視野において構想されていくべきではないか。

(広井良典『科学と資本主義の未来』による)

問一 傍線部①、②、③、④、⑤のカタカナは漢字に直し、⑥の漢字は読みを書け。

問二 傍線部⑦「ハワードのこうした理念」とは、どういう都市をつくりたいという考えか。その答えに該当する箇所を文中から三十字以内で抜き出し、最初の五字を答えよ。

問三 傍線部⑧について、「彼ら」が「ガーデン・シティ」に憧れたのは、彼らの国に起こったどんな歴史的事情があったからか。五十字以上、六十字以内で答えよ。

問四 傍線部⑨について、筆者は「庭園都市」をどんな都市ととらえているか。最も適当なものを次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 自然のままの美しい山河に囲まれている都市
- イ 自然災害などの脅威を未然に制御できる都市
- ウ 都会を離れた郊外につくられた計画的な都市
- エ 人の住みかと自然環境がうまく調和した都市

問五 空欄⑩に入る漢字一字を答えよ。

令和8年度 一般選抜（前期日程）入学試験問題

国 語

（三／五）

問六 傍線部⑤「ざる」の助動詞の文法的意味と活用形を次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 断定・未然形 イ 伝聞・終止形 ウ 打消・連体形 エ 仮定・已然形

問七 傍線部⑥について、どんな「チャンス」（機会）があると筆者は述べているのか。最も適当なものを次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 空き地や空き家などを、市民農園や緑地などへと変えていく機会
 イ 土地開発の進展により、郊外の自然環境が宅地や工場になる機会
 ウ 日本を訪れた外国人に、再び日本の美しい都市景観を見せる機会
 エ 高度成長期に失くした理想の計画都市を、今後再現していく機会

問八 空欄 ⑦に入る最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 情景 イ 借景 ウ 近景 エ 絶景

問九 傍線部⑧「エコロジカル・シティ＝生態都市」とはどんなことができる都市と筆者は考えているか。三十字以上、四十字以内で説明せよ。

問十 本文の内容と一致するものを、次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 江戸の人々が川べりや寺社の脇などで花見をしている光景が、建築家レイモンド・アンウインの目には、理想的な計画都市の姿として映った。
 イ パリのような西欧の都市には、セーヌ川などのような人工物の川や山は存在していても、美しい自然そのものを観賞できる場所は存在しない。
 ウ 江戸時代の末までは、遠望すると一つの公園のような印象を与える、いわゆる「庭園都市」としての特徴を持つ都市が日本の各地で見られた。
 エ 町にもたらされる自然の恵みを積極的に活用し、そこに生活する人々に潤いを与える取り組みが、大都市である横浜市でも実践されつつある。
 オ 人間と自然の関係を再確認しながら歴史的に価値のあるものを継承していく精神が京都では見られ、観光面も含めて国際的に注目されている。



令和8年度 一般選抜（前期日程）入学試験問題

国語

（四／五）

二、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

（注1）薩摩守忠度は、いづくより^㉑やかへられたりけん、侍五騎、童一人、わが身ともに七騎取つて返し、
 （注2）五条の三位俊成卿の宿所におはして見たまへば、門戸を閉ぢて開かず。「忠度」と名のりたまへば、「落人歸りきたり」とて、その内騒ぎあへり。薩摩守馬よりおり、みづから高らかにのたまひけるは、「別の子細候はず。三位殿に申すべき事あつて、忠度がかへり参つて候。門をひらかれずとも、このきはまで立寄せたまへ」とのたまへば、俊成卿、「さる事あるらん。その人ならば苦しかるまじ。入れ申せ」とて、門を開けて対面あり。事の体何となう哀れなり。薩摩守のたまひけるは、「年来申し承つて後、おろかならぬ御事に思ひ参らせ候へども、この二三年は京都のさわぎ、国々の乱れ、しかしながら当家の身の上の事に候間、疎略を存ぜずといへども、常に参り寄る事も候はず。」君すでに都を出でさせたまひぬ。一門の運命、はや尽き候ひぬ。撰集のあるべきよし承り候ひしかば、生涯の面目に一首なりとも、御恩をかうぶらうど存じて候ひしに、やがて世の乱れ出でて、その沙汰なく候条、ただ一身の嘆きと存ずる候。世しづまり候ひ^㉒ば、勅撰の御沙汰候はんずらむ。これに候巻物のうちに^㉓さりぬべきもの候はば、一首なりとも御恩を蒙つて、草の陰にてもうれしと存じ候はば、遠き御まもりでこそ候はんずれ」とて、日ごろ読みおかれたる歌どもの中に、秀歌とおぼしきを百余首、書きあつめられたる巻物を、今はとてうつ立たれける時、これをとつて持たれたりしが、鎧のひきあはせより取り出でて、俊成卿に奉る。三位これをあけてみて、「^㉔かかる忘れがたみを給はりおき候ひぬる上は、ゆめゆめ疎略を存ずまじう候。御疑あるべからず。さてもただいまの御わたりこそ、情もすぐれてふかう、哀れもことに思ひ知られて、感涙おさへがたう候へ」とのたまへば、薩摩守悦んで、「^㉕今は西海の浪の底に沈まば沈め、山野にかばねをさらさばさらせ、浮世に思ひおく事候はず。さらば暇申して」とて、馬にうち乗り、甲の緒をしめ、西をさいてぞあゆませたまふ。

（『平家物語』による）

- （注1）薩摩守忠度 〓 平家の武将である平忠度のこと
 （注2）五条の三位俊成卿 〓 忠度の歌の師匠であった歌人の藤原俊成のこと
 （注3）君 〓 平清盛の孫にあたる安徳天皇のこと
 （注4）撰集 〓 勅撰和歌集をつくること

問一 二重傍線部①「や」の助詞の意味用法として最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 強意 イ 詠嘆 ウ 疑問 エ 反語 オ 比喩

問二 ^㉖ぬ を、最も適切な形に活用させて書け。

問三 傍線部①、④、⑤の口語訳として最も適当なものを、次のア～エのうちからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ① さる事あるらん
 ア そんなことはないだろう イ そんなことがあるだろうか
 ウ そんなこともあるだろう エ そんなことさえあったのか



令和8年度 一般選抜（前期日程）入学試験問題

国語

（五／五）

④ さりぬべきもの候はば

- ア 適当なものがございますならば イ 捨てるべきものがございますならば
ウ 上出来のものがございますので エ 採用するべきものがございますので

⑤ 遠き御まもりでこそ候はんずれ

- ア 遠くにある私たちの守護神にお願いしましょう
イ 遠くに行ってもお守りとして大切にしましょう
ウ 遠い戦場で自分の誇りを守る手段としましょう
エ 遠いあの世からあなたをお守りいたしましょう

問四 傍線部②「疎略を存ぜず」とはどういうことか。最も適当なものを次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 世の有様にさえ関心がうすかったということ イ 歌の道をなおざりにはしていないということ
ウ うっかり師への挨拶を忘れていたということ エ 将来のことに希望を持てなかったということ

問五 傍線部③「一身の嘆き」とあるが、薩摩守は何を悲しんでいるのか。最も適当なものを次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 勅撰和歌集をつくる計画が中止になったこと イ 戦乱のために歌の師匠と会えなくなったこと
ウ 安徳帝が都を離れて一族の命運も尽きたこと エ 自分の歌が秀歌に選ばれず面目を失ったこと

問六 傍線部⑥「かかる忘れがたみ」とは具体的に何のことか。文中より四十字で抜き出し、最初の五字を答えよ。

問七 傍線部⑦「今は西海の浪の底に沈まば沈め、山野にかばねをさらさばさらせ」と言った時の薩摩守の心情として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 平家との戦いに臨み、例え戦場において死んでしまったとしても悔いはない
イ 師匠と何とか再会することができ、長年の望みを託すことができて満足だ
ウ やらねばならぬ責任を果たし終えて、あとは野となれ山となれという気分だ
エ あこがれの勅撰和歌集に自分の歌が採用されたので、うれしくて仕方がない

問八 この文章は『平家物語』の一節である。この作品と同じジャンル（分野）の作品を、次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 栄花物語 イ 方丈記 ウ 源氏物語 エ 太平記 オ 宇治拾遺物語



国語解答用紙

	総 点
--	--------

⑤ え	①
⑥ い	②
	③
	④

[illegible]

111

1001

1881

111

[illegible]

1800

1561

①

4

5

1001

1001

1881

1881

令和8年度

一般選抜（前期日程）入学試験問題

国語

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、問題用紙および解答用紙を開いてはいけません。
- 二、この表紙を除いて、問題用紙は五ページあります。また、解答用紙は一ページあります。
- 三、問題用紙および解答用紙の印刷不鮮明、ページの不足や汚れに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 四、受験番号と氏名を所定の全ての欄に記入してください。
- 五、解答は、解答用紙の指定された解答欄に記入してください。指定された解答欄以外に記入したものは採点しません。
- 六、表紙および問題用紙の余白や裏面は、適宜下書きや計算などに用いて構いません。
- 七、配付した用紙は全て、試験終了後回収します。



令和8年度 一般選抜（前期日程）入学試験問題

国語

（一／五）

一、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

貧困な層の定義として世界銀行等でふつうに使われるのは、一日あたりの生活費が一ドルという^① スイジュンである。一九九〇年には、この貧困ライン以下に一二億人が存在していたという。世界銀行はこのほかに、極貧層として、年間所得二七五ドル（一日あたり七五セント）以下というカテゴリーをつくった。このカテゴリーにふくまれる人びとは、一九九〇年で六億三〇〇〇万人であり、発展途上国の人口の一八％にのぼるとされる。

^④ 貧困のこのようなコンセプトは正しいだろうか？ 正確に言えば、現実の構造を的確に認識する用具として、適切な定義の仕方といえるだろうか？

同じような資料は多いので、たまたま最近目にふれたありふれた事例の一つをとりあげてみよう。^⑥ 中国南部の少数民族ヤオ（瑶）族の族支、巴馬瑶族の人たちの暮らす村々は、百歳をこえて元気な人たちの多い地域として知られるが、調査の対象となった百五歳の男性は、長生きの原因は「悩みがないこと」だろうと言っている。県の「老齡委員会」は長寿の原因を、「①温暖な気候と^② オセンのない空気、②食物が自然のもので、低脂肪、高栄養価であること、③長年の畑仕事で体がきたえられ、飲酒、喫煙率が少ない」ことを挙げている（朝日新聞一九九五年九月四日記事）。「高栄養価」という食物は、「トウモロコシの粉と米のおかゆ、野草やサツマイモ、カボチャの茎、大豆などのスープやいためもの。肉は三日に一回の割合」というものである。長寿が幸福とは限らないが、九十歳代くらいまでは元気で「悩みがない」ということは、よい人生だろうと想像する方が素直だろう。この巴馬瑶族の地域の一人あたり平均年収は四八〇〇円（一九九五年）で、一日あたり〇・一三ドルくらいである。

アメリカの原住民のいくつかの社会の中にも、それぞれにちがったかたちの、静かで美しく、豊かな日々があった。彼らが住み、あるいは自由に移動していた自然の空間から切り離され、共同体を解体された時に、彼らは新しく不幸となり、貧困になった。経済学の測定する「所得」の量は、このとき以前よりは A はずである。貧困は、金銭をもたないことにあるのではない。金銭を必要とする生活の形式の中で、金銭をもたないことにある。貨幣からの疎外の以前に、^⑤ 貨幣への疎外がある。この二重の疎外が、貧困の概念である。

貨幣を媒介としてしか豊かさを手に入れることのできない生活の形式の中に人びとが投げ込まれる時、つまり人びとの生がその中に根を下ろしてきた自然を解体し、共同体を解体し、あるいは自然から引き離され、共同体から引き離される時、貨幣が人びとと自然の果実や他者の仕事の成果とを媒介する^③ ユイイツの方法となり、「所得」が人びとの豊かさと貧困、幸福と不幸の尺度として立ち現れる。（豊かさと貧困の近似的な尺度として存立し、幸福と不幸の一つの基礎的な次元として成立する、というべきだろう。）

人はこのことを一般論としてはただちに認めるだけでなく、「あたりまえ」のことだとさえいうかもしれない。けれども「南の貧困」や南の「開発」を語る多くの言説は、實際上、この「^④ あたりまえのこと」を理論の基礎として立脚していないので、認識としての失するだけでなく、政策としても方向を^④ 過つものとなる。

一日に一ドル以下しか所得のない人が世界中に一二億人もいて、七五セント以下の「極貧層」さえ六億三〇〇〇万人もいるというような言説は、善い意図からされることが多いし、当面はよりよい政策の方に力を与えることもできるが、原理的には誤っているし、長期的には不幸を増大するような、開発主義的な政策を基礎づけてしまうことになるだろう。巴馬瑶族の人たちもアマゾンの多くの原住民も、今日この「一日一ドル以下」の所得しかない一二億人に入っているが、彼らの「所得」を「一ドル以上」とするにちがいない政策によって、^⑥ 幸福のいくつもの次元を失い、不幸を増大する可能性の方が、現実にははるかに大きい。（視える幸福とひきかえに視えない幸福の次元を失い、測定のできる幸福とひきかえに測定のできない幸福の諸次元を失う可能性の方が大きい。）「自分たちの食べるもの」を作することを禁止されたあの^{（注）} ドミニカの農民たちは、食べるものを市場で買うほかに生きられないから、どこかの大量消費市場のための商品作物を作って金銭を得るほかはなく、「所得」は B。この市場から、以前よりも貧しい食物しか手に入れることができなくなっても、彼らは統計上、所得を向上したことになる。

(二五)

令和8年度 一般選抜（前期日程）入学試験問題

国語

（三／五）

問六 傍線部④「あたりまえのこと」が指す内容として最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 世界には一日に一ドル以下しか所得のない貧困層がたくさんいるということ
イ 貧困層を少なくするための政策として積極的に開発を進めていくということ
ウ 金銭の有無が人々の幸福感を左右する状態に恒常的になっているということ
エ 運命共同体を解体して自然から離れないと貧困から抜けられないということ
オ 貧困の概念は貨幣からの疎外と貨幣への疎外の二つが考えられるということ

問七 傍線部⑤「幸福のいくつもの次元を失い」とあるが、アメリカの原住民の場合はどんなものを失ったと考えられるか。適当でないものを次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 自由な移動 イ 本来の居住地 ウ 部族内の結びつき エ 安定した収入

問八 空欄 B に入る最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 増大するはずがない イ 増大せざるをえない
ウ 減少するはずがない エ 減少せざるをえない

問九 傍線部⑥について、こう述べる筆者の考えとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 貧困か否かは所得の大きさだけで決まるものではない
イ 所得を向上させることによって失うものも多いだろう
ウ 視えない幸福こそ本当に必要なもので金銭は二の次だ
エ 以前よりも生活程度が下がることがあつてはならない

問十 傍線部⑧「このように」が指す内容を文中から抜き出し、終わりの五文字を答えよ。

問十一 傍線部⑨「裸々」は「隠さずありのままであるさま」という意味の熟語である。に入る漢字一字を答えよ。

問十二 傍線部⑩の状況に該当しないものを、次のア～エのうちから二つ選び、記号で答えよ。

- ア 強いきずなで結ばれた共同体で暮らしていた安全な生活から引き離された状況
イ 長い目で見ると更に不幸をもたらすような開発ありきの政策を生んでいる状況
ウ 食べていくためには商品作物を生産し販売することで収入を得るしかない状況
エ 昔よりも栄養価の低い食物しか手に入れることができなくなってしまった状況
オ GNPで幸福かどうかを判断される社会機構の中に組み込まれてしまった状況
カ 自分たちが食べる物であっても自分たちの手で作ることができなくなった状況



令和8年度 一般選抜(前期日程) 入学試験問題

国語

(四／五)

二、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

むかし、若き男、^(注1)けしうはあらぬ女を思ひけり。^①さかしらする親ありて、^②思ひもぞつくとて、この女をほかへ追ひやら^④むとす。さこそいへ、まだ追ひやらず。^③人の子なれば、まだ心いきほひなかりければ、とどむるいきほひなし。女もいやしければ、^(注2)すまふ力なし。さる間に、思ひはいやまさりにまさる。にはかに、親、この女を追ひうつ。男、血の涙を流せども、とどむるよしなし。率^あて出でていぬ。男、泣く泣くよめる。

^④出でていなばたれか別れのかたからむありしにまさる今日は悲しも^{けふ}

とよみて^(注3)絶え入りにけり。親あわてにけり。^⑤なほ思ひてこそいひしか、いと^⑥かくしもあら^⑥じと思ふに、真実に絶え入りにければ、まどひて願立てけり。今日の^(注4)いりあひばかりに絶え入りて、またの日の^⑦戌の時ばかりになむ、からうじて生き出でたりける。むかしの若人^{わかんど}は、さる^⑧すける物思ひをなむしける。

(『伊勢物語』による)

(注1) けしうはあらぬ女 〓 悪くはない女

(注2) すまふ力 〓 対抗する力

(注3) 絶え入りにけり 〓 気を失ってしまった

(注4) いりあひばかり 〓 日没ごろ

問一 二重傍線部①「む」、②「じ」の助動詞の意味として最も適当なものを、次のア～ウのうちからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

① 「む」 ア 完了 イ 意志

ウ 使役

② 「じ」 ア 反実仮想

イ 現在推量

ウ 打消推量

問二 傍線部①「さかしらする親」とあるが、ここではどんな親か。最も適当なものを次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 人の気持ちをまったく考えない親

イ 利口ぶって口出しをしたがる親

ウ あせらず冷静に物事を判断する親

エ 世間体を気にしすぎる小心な親

問三 傍線部②、⑤、⑧の口語訳として最も適当なものを、次のア～エのうちからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

② 思ひもぞつく

ア 夢中になるに違いない

イ きつとあきらめさせよう

ウ 強い恋心を抱くだろう

エ 思いが深くなったら困る

⑤ なほ思ひてこそいひしか

ア なんととっても子を思ってたのだけれども

イ やはり将来を考えて言ったのであるから

ウ 何を思ってたこのような行動を取ったのだろうか

エ さらに心配をかけるとはなんたることだ

⑧ すける物思ひ

ア はかなく悲しい恋

イ 誰もがうらやむ恋

ウ 命がけで一途な恋

エ 清らかで美しい恋

令和8年度 一般選抜（前期日程）入学試験問題

国語

（五／五）

問四 傍線部③「人の子なれば」とは誰のことを言っているのか。最も適当なものを次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 若き男 イ けしうはあらぬ女 ウ 親 エ 作者

問五 傍線部④の歌の解釈として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 追い出されたとしても、私を置いて出て行ってしまうなんて、あの人はなんて薄情なお方だ。以前よりも今の方がいっそう悲しい気持ちだ。

イ すでに出て行ってしまったあととならば、あの人と別れを惜しむことさえもできない。今日の悲しみは今までの悲しみよりいっそう深刻だ。

ウ たとえ、今、自分が死んでしまうことになったとしても、あの人と別れたくはなかった。生きていることがいっそう悲しく思われることだ。

エ あの人が自分の意志で出て行ったのならこんなにつらくも思わないだろう。そうではないから、今日は今までよりもいっそう悲しいことだ。

問六 傍線部⑥「かく」が指す語句を、文中から四字で抜き出して答えよ。

ア 午前四時頃 イ 午前十時頃 ウ 午後二時頃 エ 午後八時頃

問七 傍線部⑦「戌の時」とは、現代の時刻で何時頃か。最も適当なものを次のア～エのうちから一つ選んで、記号で答えよ。

問八 次の文章は『伊勢物語』を説明したものである。空欄 A、B に入る最も適当なものを、あとのア～エのうちからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

『伊勢物語』は、現存する最古の A であり、B とおぼしき主人公の元服から臨終までを描く一代記風の構成をとっている。

A ア 歌物語 イ 作り物語 ウ 歴史物語 エ 軍記物語

B ア 紀貫之 イ 在原業平 ウ 藤原道長 エ 菅原道真



二
目

受験番号		氏名	
------	--	----	--

氏名

令和8年度 一般選抜（前期日程）入学試験問題

国語解答用紙

一、

⑤	①
⑥	②
	③
	④ つ

	総 点
--	--------

問二

[illegible]

問三

問四

問四

問五

[illegible]

問六

問七

問八

問九

問七

問八

問九

問十

問十一	
問十二	

問十

問十

二、

問一

問二	a
問一	b

(b)

問二

問三

②	⑤	⑧
---	---	---

②

⑤

⑧

問四

問五

問五

問六

問七

問八	
A	B

問八

A

B

国語

工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部
(一般前期 1日目)

一	問一	①	由来	②	克服	③	充足
		④	言及	⑤	迎(え)	⑥	いこ(い)

問二 環境と調和

問三 産業革命が進行し、大気汚染など公害の増加、コミュニティの稀薄化や格差拡大、自然の喪失等々が進んでいたという事情【解答例】

問四 エ

問五 針

問六 ウ

問七 ア

問八 イ

問九 人間と自然との関わりを含めて、伝統的なものの再発見へとつなげることができる都市【解答例】

問十 オ

二 問一 ウ

問二 な

問三 ① ウ ④ ア ⑤ エ

問四 イ

問五 ア

問六 日ごろ読み

問七 イ

問八 エ

国語

工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部
(一般前期 2日目)

一	問一	①	水準	②	汚染	③	唯一
		④	あやま(つ)	⑤	富裕	⑥	典型

問二 貧困層は一日の生活費が一ドル、極貧層は年間所得が二七五ドル以下という考え方【解答例】

問三

問四

問五 貨幣が必要な世界に入れられてしまうこと【解答例】

問六

問七

問八

問九

問十

問十一

問十二

二 問一

問二

問三

問四

問五

問六

問七

問八